



事業所における自己評価総括表

事業所名	T-placeセンター南			
保護者評価実施期間	2025年 2月 27日		～	2025年 3月 14日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	30
従業者評価実施期間	2025年 2月 27日		～	2025年 3月 14日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人・ご家庭のニーズに合った、個に寄り添った支援を行っている。	半年に1回を目安としている面談での聞き取りに時間をかけ、ニーズに合わせた支援方針の策定・実施を徹底しているほか、全職員に情報を随時共有している。	保護者だけでなく関係機関との連携を加えられるとより良い形での支援が行えそうである。特に進学・就労先との情報を共有することで、卒業後に支援が切れないう努めたい。
2	利用者の状況に合わせた集団支援プログラムの策定ができています。	毎年保護者向けにイベントアンケートを実施し、集団プログラムのニーズや課題を抽出している。	進学先や就労先からの声も反映できるとより充実したプログラムの実施ができると考え、現在は成人施設からの聞き取りを行っている。
3	利用者の年齢層にあった構造化を行っている。	中高生が来たいと思えるような空間づくりと、必要な情報がすぐ得られるような空間設定を行っている。	職員にも構造化の知識を持ってもらい、意図を理解してもらうことで、より良い空間づくりに努めたい。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	事業所として必要性を感じていないのと、利用者・保護者からのニーズもない。	個人情報保護の観点からもオープンな交流は難しいが、近隣事業所との交流は検討していく。
2	保護者会は年2回実施しているが、他に保護者同士の交流やペアレントトレーニングの機会が無い。	交流会や保護者向け勉強会を企画したこともあるが、開催できるのが平日の午前中になってしまうため、参加できる方が限られてしまう。	営業日でない休日に開催すれば参加率が上がる可能性はあるが、職員の振り替え休日取得が課題となる。職員への理解が得られ一定のニーズが確認できれば実施を検討したい。
3	学校や他支援機関、高校卒業後の障害福祉サービスとの連携の機会が少ない。	他支援機関との連携は行っているが学校は機会そのものをあまり設けていない。卒業後に関してはそもそも前例がほとんどないため、これから実施していく必要がある。	学校は連携を拒否されてしまうケースも散見されているので、働きかけ続ける必要がある。他支援機関とは次年度中に関係性を作っていきたい。